



鳥取県米子市では長い横揺れが断続的に続き、同市加茂町では歩道にひび割れが入った。同市の防災無線は「警戒してください」と、市民に注意を呼び掛けた。

家屋が倒壊、道路陥没

「車が埋もれている」の情報も

鳥取市内や岡山、広島市内への電話は通じにくくなっている。米子市の県立米子コンベンションセンターでは、この日から「介護保険推進全国サミット」が開かれており、会場には参加者約2000人がいたが、突然の大揺れにステージの催しは突然、中断した。揺れは横揺れから縦揺れになり、長い間続いた。座席に座っていた参加者たちからは「地震、地震!」「中止、中止だ!」と叫び声があがり、多くが屋外に飛び出した。ステージ上の照明などの機材も大揺れになったが、マイクが使用できず、大音量で「そこは危ない」などと声を掛け合った。震源地に近い鳥取県境港市の市中心部では、建物の倒壊や火災などは発生していないが、民家の食器棚から食器が落ちたり、タンスから箱が落ちるなどした。住民らは家の外に飛び出し、被害状況の確認に走り回っている。米子消防署によると、溝口町で土砂崩れが発生、車が埋もれているとの情報が入っている。また、西伯町では、たんすが倒れて下敷きになった人がけがをしており、米子市内でもレンタルビデオ店で店内の商品が倒れ、客がけがをしている

という。境港市内では、同市上道で宗教団体の施設の一部が倒壊したほか、民家1棟が倒壊。また、同市外江の寺院では、プロック解が倒れた。米子市和町では、民家1棟が倒壊、道路をふさいでいる。鳥取県米子市総務課に入った報告によると、6日午後2時15分現在で同市内の敷力所で道路が陥没している。震度5弱の強い揺れがあった鳥根県鹿島町の中国電力鳥根原発電には、1号機(沸騰水型、46万キロワット、1974年3月運転開始)、2号機(同、82万キロワット、89年2月運転開始)があるが、ともに定期検査のため現在は運転停止中。同原発によると、午後1時40分時点で被害は確認されていない。15基の原発が立地する福井県によると、四国電力(高松市)によると、四国4県で地震による停電はないという。JR大阪駅では、13時33分ごろ、大阪地方で強い地震が発生しました。安全確保のため、全列車を止めております」と放送が繰り返された。乗客らは「どうなってるんだ」と言いながら、携帯電話や公衆電話で電話する姿が目立った。神戸市は地震発生直後に災害警戒本部を設置。市内の被害状況などの情報収集を始めた。また、中国自動車道の福岡-佐用間が道路点検のため午後1時半から通行止めになった。高松市で一番高いビルの香川県庁本館(21階建て)ではエレベーターが止まり、職員らは階段を上り下りしながら情報収集や対策の打ち合わせに追われている。